

令和元年度 第 2 回 高島市ごみ処理施設建設検討委員会

令和元年度 第 1 回 高島市ごみ処理施設建設検討委員会の会議録（概要版）

開催日時 令和元年 7 月 31 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

開催場所 高島市役所 新館 3 階 会議室 1 1、1 2

出席者 【委員】（名簿順、敬称略）

樋口 能士（委員長）、荒井 喜久雄（副委員長）、香川 雄一、柳井 薫、
青山 誠司、宮本 敦司、奥野 博史、川添 宏司

【事務局】

福井 正明 市長、上山 幸応 副市長
高島市環境部

【コンサルタント委託業者】

（株）エイト日本技術開発

傍聴者 11 名

会議内容 1. 開会

- （1）委員長あいさつ
- （2）市長あいさつ

2. 報告、審議等

- （1）本委員会の方針とスケジュール
- （2）新ごみ処理施設整備
- （3）処理方式の検討
- （4）公害防止基準の検討
- （5）計画ごみ質の検討
- （6）PFI 等導入可能性調査について

3. その他

4. 閉会

資料 資料 1 本委員会の方針とスケジュール

資料 2 新ごみ処理施設整備について

資料 3 処理方式の検討、公害防止基準の検討、計画ごみ質の検討

資料 4 PFI 等導入可能性調査について

参考資料 1 計画ごみ質の設定

参考資料 2 メーカーアンケートについて

1. 開会

(1) 委員長あいさつ

委員長より開会のあいさつを行った。

(2) 市長あいさつ

市長より開会のあいさつを行った。

2. 報告、審議等

(1) 本委員会の方針とスケジュール

事務局より資料1について説明を行った。

(2) 新ごみ処理施設整備

事務局より資料2について説明を行った。

委員：直近の排出量等を考慮してもう一度排出量の推計を行う際は、一般廃棄物処理基本計画等の見直しもお考えか。

事務局：一般廃棄物処理基本計画は平成28年度に策定したものであり、今回見直しを行う予定はない。

委員：新ごみ処理施設の整備全体スケジュールにおいて、生活環境影響調査が令和元年4月～令和3年3月で実施される旨が記載されているが、既に調査は開始しているか。

事務局：調査は令和元年9月～令和2年8月に実施する予定である。

委員：調査場所や内容等、高島環境事務所の意見も聞いて欲しい。

事務所：承知した。

委員：新ごみ処理施設の整備全体スケジュールにおいて、建設工事（施工）が令和4年10月～令和6年9月となっているが、現実的な期間設定であるか。

事務局：今のところ、可能な期間設定であると考えているが、今後メーカーアンケートにおいて建設期間について質問する予定である。

(3) 処理方式の検討

事務局より資料3（処理方式の検討）について説明を行った。

委員：高島市環境センターの在り方検討委員会や高島市ごみ処理施設建設検討委員会等で既に議論しており、確認程度で良いと考えている。

(4) 公害防止基準の検討

事務局より資料3（公害防止基準の検討）について説明を行った。

委員：排水はクローズドと記載だが、生活排水の処理はどのようにお考えか。

事務局：生活排水もクローズドとする予定である。

委員：ごみ処理施設の建設にあたり、循環型社会形成推進交付金を申請する予定か。

事務局：エネルギー回収率の交付要件を満足することが困難なため、ごみ処理施設は他の省庁、リサイクル施設は環境省の循環型社会形成推進交付金を申請する予定である。

委員：硫黄酸化物の法規制値がK値表記となっており分かりづらい。

事務局：条件設定後、試算したうえで、濃度も併記する。

(5) 計画ごみ質の検討

事務局より資料3（計画ごみ質の検討）及び参考資料1について説明を行った。

委員：基本構想で掲げた計画ごみ質と差異が生じたのはなぜか。

事務局：今回の計画ごみ質の算定においては、異常値の除外等精度を高めているためである。

委員：近隣自治体では紙や布類が多い理由として、地場産業の繊維が多いと聞いたことがあるが、どうお考えか。

事務局：地場産業の繊維等の大半は、リサイクルに回していると聞いている。

委員：今回算出した計画ごみ質は妥当な値であると考えられるが、もう一度新しい分析結果等を加味して見直すとのことで、報告をお願いしたい。

事務局：承知した。

(6) PFI等導入可能性調査について

事務局より資料4及び参考資料2について説明を行った。

委員：近年の実績を提示して欲しい。

事務局：次回の委員会で提示する。

委員：近隣自治体はどのように運営を行っているか。

事務局：守山市、近江八幡市はDB0、野洲市及び草津市はDB+0で行っている。

委員：メーカーアンケートの趣旨において、メーカーが参入しやすい文言に変えた方が良いのではないか。

事務局：アンケート調査を行うまでに検討したうえで、適宜修正する。

委員：アンケートにおいて、熱利用の可否は聞くことができるか。

事務局：質問内容については事務局でもう一度整理し、アンケート実施前に委員全員にメールを送り意見を承りたい。

3. その他

事務局：第2回委員会の予定は、9月下旬を予定している。また、現場の見学も考えているため、詳細は後日連絡する。

4. 閉会

以上